

ソーレまつり2010記念講演会

トーク&落語 「笑う人ほど人生の達人」



日時 平成22年1月31日 13:30～15:30

会場 大会議室

講師 桂七福(落語家)

一度はエンジニアの道を選んだが落語家になる夢を捨てきれず、平成3年に上方落語家4代目・桂福団治の弟子として入門、現在は地元徳島や関西でプロの落語家として活躍している桂七福さんをお招きしました。古典落語を交えた楽しい講演で、会場は笑いに包まれました。



◇笑うことができるのは人間だけ

楽しいという気持ちは動物ほとんどにあるらしいんですけども、笑うということが出来るのは人間だけなんやそうですね。それぞれに笑いのスイッチを持っていて、これは自分しか押せないんです。いくら親しい友達でも夫婦でも、横からパッと押すわけにはいかん。もしかすると錆びついてる方もいらっしやるのか分かりませんが、積極的に楽しもうという気持ちが大事なんですね。落語を楽しむときも自分がおもしろいと思ったら、誰にはばかることなく笑ってください。そうすると、隣の人がそれを見てつられて笑うわけでございまして、皆さん方が熟練いたしますと、おもしろくなくても笑う。この域に達すると、とても落語家が育ちますんで。

◇人が楽しいと思って笑うは1日平均18秒

80年生きた方が楽しいと思って笑った時間を全部足したらどれほどになるかという研究した人がいまして、「あんた想像つきますか」「そらまあ半年ぐらいちやいますか」と言うたら、ニコッと笑いながら、「わずか21日。」1日平均大体18秒なんやそうですね。たった18秒と思いますけど、なかなか18秒笑うてないんです。平均的に声を出して笑

っている姿、長そうで短い4秒。1日にこれが4、5回あるかどうかなんです。女性だけで計ると多分増えるでしょうし、男性だけでは減ると思います。「今日はバタバタしてて笑うてないな。今日の分は今日のうちに笑うて済まして。」そんなに気にすることは無いんですが、「笑う」ということでちょっと心がリラックスできる。リフレッシュできますしね。「笑う門には福来る」笑顔でいると人と話をするチャンスが増えるかもしれないということなんです。

◇「すまんけど」の5文字が大事

夫婦の間でもニコニコしたいなと思うと、どうしても会話が大事です。けど、夫婦の間で私と同じ男の側の方が、ちょいちょいこういうことを言ってしまうたりする。「そんなお前、細かいことをいちいち言うてられるか。一緒になって何年になると思うてんねん。察し合えるのが夫婦とちゃうのか。そんな細かいこと、いちいち言うてられるか」彼は間違っておりますね。どんな些細なことでも、やはり言わなければ相手には伝わらないのでございます。

「すまんけど、シャンプー詰替こうといて。」この「すまんけど」たった5文字ですけど、これが大事なんですよ。次の日シャンプーが替わってたら、「シャンプーありがとう」このフォローがあるかどうかで大分変わってくるんですよ。やっぱりものの言い方一つですわ。これ男女、関係ないんです。男やから偉そうにとか、女やから偉そうに言われなやかんとか、そんなやないんでね。

◇「男らしく女らしく」ではなく「自分らしく」

知らず知らずのうちに、すり込まれたものもぎょうさんにあります。「男らしく女らしく」というのも、だんだん消えつつあります。「自分らしく」が前に出てくるようになりました。ですから、「男らしい女らしい」の、「男」「女」のところには「人間」と入れて、ちょっとおかしいなと思うようなのは多分性別は関係なくなってくるんですね。

「めそめそ泣くな。男のくせに」人間に換えてみます。「泣くな、人間のくせに」。人間は泣けるのでございます。悲しいと思って嬉しいと思って泣けるのが人間なんです。「ピンクの服がよう似合うね。女らしいね」。人間に換えます。「ピンクの服がよう似合うね。人間みたいやね」。昨日まで犬やっただったらそれでもええ。

「わしの通うてる病院にな、男の看護師がいるんや。ちゃんとケアできんのか心配や」「うちの子が通うてる保育園に男の先生がいてんねんで・・・」「うちの息子、中3の受験生で、この大事な時期に担任が女になったっちゅうやないかい。(大丈夫かな)」こうい

うのは間違いであるということはだんだん当たり前のようになってきましたけど、心の奥底に何となく眠っているものがあるわけでございます。そういうところに気がついたときに、「あっ」と思えるかどうか大切にではないかなと思っています。

◇終わりに

今日のテーマでもその人らしさということが大きなテーマになっております。言葉の使い方を間違えると、その人の一生にかかわるような深い傷を負わせることもありますし、たった一言でその人の生涯の人生を支えるような、ありがたい言葉もあります。できることなら言葉を使ってニコッとしてもらえるようなコミュニケーションを皆さんもぜひ重ねてほしいなと一言を添えさせていただいて、私の話を締めさせていただきたいと思います。長い時間ほんとにありがとうございました。